

第74回『巣立ちのネットワーク』事務局会議

平成21年 9月16日(水) 14:00~16:30

(司会) 京都市立東総合支援学校 進路指導主事 福田好孝

1. 挨拶 (京都市教育委員会)
(事務局長)

2. 事務局構成員出席者確認

3. 報告

京都市障害者就労支援推進会議設立 (京都市保健福祉局障害保健福祉課)

4. 情報交換

- (1) 平成21年度障害者ワークフェアについて (京都府高齢・障害者雇用支援協会)
- (2) 第7回アビリンピック京都大会開催について (京都府高齢・障害者雇用支援協会)
- (3) 平成21年度障害者就職面接会について (京都障害者職業相談室)
- (4) 白河総合支援学校PTA職場開拓の取組状況について (井上)
- (5) 平成21年度市民啓発の取り組みについて (山本)
- (6) その他

5. 議事

- (1) 第16回「障害のある市民の雇用フォーラム」実施要綱 (井上)

6. 閉会の挨拶 (京都市教育委員会)

7. 諸連絡

- <配布資料>
- ・就労支援推進会議設立について
 - ・平成21年度ワークフェアについて
 - ・第7回アビリンピックについて
 - ・障害者就職面接会について
 - ・BASIC

第 7 4 回事務局会議出席予定者名簿

氏 名	職 名 等	備 考
鈴鹿 且久	株式会社 聖護院八ツ橋総本店取締役社長	
伊藤 裕	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談支援部長	
終 正章	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談サービス課長	
岩井 光男	京都手をつなぐ育成会理事	
大釜 和子	ハローワーク京都七条 京都障害者職業相談室長	
田中 正人	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 京都障害者職業センター所長	
阪田 理恵	社会福祉法人京都障害児福祉協会 京都障害者就業・生活支援センター所長	
吉原 百合子	京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課 担当係長（企業啓発）	
門野 大輔	京都市産業観光局 商工部 産業政策課 雇用創出係長	
居内 学	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長	
舟瀬 伴子	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長補佐	
中村 泰之	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長補佐	
梁川 恵	京都市児童福祉センター発達相談所 発達相談課 相談判定係長	
中川 徳子	京都市立総合支援学校 PTA 連絡協議会 『巣立ちのネットワーク』担当	
春原 克彦	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 副校長	
木下 幹雄	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 進路指導部長	
奥田 信一	京都市立北総合支援学校校長	
小谷 加代子	京都市立北総合支援学校 進路指導主事	
森脇 勤	京都市立白河総合支援学校校長	
井上 美加	京都市立白河総合支援学校 進路指導主事	
堀田 明彦	京都市立東総合支援学校校長	
福田 好孝	京都市立東総合支援学校 進路指導主事	
北村 裕二	京都市立鳴滝総合支援学校校長	
山本 陽子	京都市立鳴滝総合支援学校 進路指導主事	
永井 実	京都市立西総合支援学校校長	
白方 秀和	京都市立西総合支援学校 進路指導主事	
森 卓也	京都市立呉竹総合支援学校校長	
中西 太郎	京都市立呉竹総合支援学校 進路指導主事	
山本 英生	京都市教育委員会総合育成支援課 課長	
朝比奈覚順	京都市教育委員会総合育成支援課 担当課長	
中村 一郎	京都市教育委員会総合育成支援課 指導主事	
伊丹 由紀	京都市教育委員会総合育成支援課 指導主事	
中嶋 裕	京都市教育委員会総合育成支援課 総合育成支援係長	
安部 裕太	京都市教育委員会総合育成支援課	

事務局構成員

団体名（関係機関）	氏名	団体名（学校）	氏名	
京都府高齢・障害者雇用支援協会	伊藤 裕	京都教育大学附属特別支援学校	春原 克彦	木下 幹雄
	柗 正章	京都市立呉竹総合支援学校	森 卓也	中西 太郎
京都手をつなぐ育成会	岩井 光男	京都市立鳴滝総合支援学校	北村 裕二	山本 陽子
京都障害者職業相談室	大釜 和子	京都市立東総合支援学校	堀田 明彦	福田 好孝
京都障害者職業センター	田中 正人	京都市立白河総合支援学校	森脇 勤	井上 美加
京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課	舟瀬 伴子	京都市立西総合支援学校	永井 実	白方 秀和
	中村 泰之	京都市立北総合支援学校	奥田 信一	小谷加代子
京都市児童福祉センター発達相談所	梁川 恵	京都市教育委員会指導部総合育成支援課	中村 一郎	安部 裕太
京都市立総合支援学校PTA連絡協議会	中川 徳子		伊丹由紀	
京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課	吉原 百合子			
京都市産業観光局 商工部 産業政策課	門野 大輔			
京都障害者就業・生活支援センター	阪田 理恵			

事務局長

所 属	氏 名
京都市立白河総合支援学校 校長	森脇 勤

代表

所 属	氏 名
株式会社 聖護院八ツ橋総本店 取締役社長	鈴鹿 且久

[報 告]

- (1) 京都市障害者就労支援推進会議設立
について

平成21年度PTA職場開拓の取組について

京都市立白河総合支援学校

ア. 目的

- (1) 産業総合科生徒の企業就職100%を目指し、学校と保護者が協働して、雇用促進を目指した白河総合支援学校の取組を企業に伝えるための「啓発活動」を実践する。
- (2) 会社訪問を通して、知的障害のある人の雇用に係る企業の考えや方針等を知る。

イ. 実施日 平成21年 7月23日(火)

ウ. 当日の日程

10:00	参加者(教員・保護者)集合 学校長挨拶。PTA進路委員長挨拶 取組についてのオリエンテーション(進路指導主事) ①当日の日程についての連絡 ②会社訪問の組み合わせの紹介 ③会社訪問時に活用する啓発グッズ(リーフレット・パンフレット)の紹介 ④企業情報の記録用紙の記載についての説明 ⑤会社訪問時の心得・マナー等についての説明 ⑥会社訪問時の挨拶・名刺交換の演習
11:00	教師, 保護者による打ち合わせ
11:30	学校出発(適時) 会社訪問
16:00	学校集合 取組の総括(職場開拓状況の情報交換及び感想の発表)
17:00	解散

エ. 実施方法

- (1) 教員と保護者がペアを組んで会社を訪問する。それぞれのペアには、「求人票」と「地図」を事前に配布し、「求人票」の会社や店を中心に職場開拓をする。
- (2) 会社訪問時の役割分担については、原則として、教師が総務担当者との面談、保護者が面談内容の記録を担当する。
- (3) 16:00学校に集合をし、各ペア(保護者)から職場開拓状況を報告する。

オ. 参加者 教員: 38名, 保護者: 27名, 計: 65名

カ. 開拓状況

	訪問数	雇用の可能性有	体験実習可	検 討	雇用・体験実習不可
求人票	61	2	10	34	17
飛び込み	6	0	2	4	0
合 計	67	2	12	38	17

検討について・・・
「検討します」
「担当者不在のため伝えておく」などの返事であったところ。PTA職場開拓後、担当教員で訪問中であり、実習可能数は若干増える。

食品加工3年生 保護者

私は、1年生の頃から合わせて4回の職場開拓に参加させていただきました「皆勤です!」。1回目は、先生とマクドナルドでお話したことしかあまり記憶にありませんが、学校に戻ってから「この会社はケンモホロロでした・・・。」などというお話を聞いたことを覚えています。しかし、毎年最後の訪問先報告を聞いていますが、無愛想な会社が減ってきているように感じています。景気の状態は悪くなっていますが、障害を持つ人の雇用が認知されてきていると感じます。

今回の訪問についても、担任の先生に同行させて頂き、先生の話に熱心に聞いてくださり、雇用の話まで考えようとして下さるところもありました。保護者は、どちらかというと先生について行けばよいので気楽な立場ですし、何より複数の会社の方から話を聞き、今の社会状況を垣間見ることができ、普段の生活のスパイスになったような気がします。興味を持っていただけるなら、皆さん参加される方がよいかと思います。



情報印刷1年生 保護者

はじめての職場開拓に参加させて頂きました。この日は晴天であり、スーツ姿で先生とアポイントなしでの職場訪問は、緊張で汗が……。1軒目は、突然の訪問でしたので、名刺だけのご挨拶で終わりました。でも、2軒目の会社は、話を聞いて頂くことができ、とてもうれしく思いました。この会社は、障害者雇用をされているところで、心強くなりました。このような職場体験のできる会社が、たくさんあれば、将来的にも安心できると思いました。

先生と一緒に職場訪問をして、先生方が子供達のために、日々職場をまわっていただいていると思うと、ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。白河で、親子共々たくさんの方のことを学び、社会に出て行けるように頑張りたいと思います。良い体験をさせて頂きありがとうございました。

平成21年度市民啓発の取組

1 障害者就職面接会

期 日 平成21年9月28日（月） ・ 平成21年2月10日（水）
集合場所 京都テルサ
内 容 企業セミナーにおける障害者雇用及び実習の啓発

2 京都市PTAフェスティバル

期 日 平成21年12月12日（土）
集合場所 国立京都国際会館イベントホール 支援学校作業製品販売コーナー
内 容 啓発パネルの展示及び啓発物品（葉書）の配布

3 小さな巨匠展

期 日 平成22年1月28日（木）～1月31日（日）
場 所 京都市美術館別館
内 容 啓発パネルの展示及び啓発物品（葉書）の配布
(自由に持って行っていただく)

[議 事]

第16回「障害のある市民の雇用フォーラム」
実施要綱

「第16回障害のある市民の雇用フォーラム」の実施要項（案）

『巣立ちのネットWORK』事務局長 森脇 勤
事務局担当 井上美加

≪ 目的 ≫

- (1) 京都市立総合支援学校及び京都教育大学附属特別支援学校の卒業生を、継続雇用する企業に感謝の意を表すとともに、継続勤務している卒業生を表彰し、今後の更なる活躍を期する場とする。
- (2) 企業に職業的自立を願う総合支援学校生徒や保護者の思いを伝え、総合育成支援教育や総合支援学校が取り組んでいる職業教育の内容や実践及び総合支援学校生徒について理解を深める場とする。
- (3) 企業に、障害のある市民に関する認識を深めていただき、「総合支援学校生徒の進路開拓を目指す『巣立ちのネットWORK』」の活動について知っていただき、企業における体験実習の場及び雇用を働きかける場とする。
- (4) 障害のある人の雇用に関する様々な支援（学校や相談機関による支援、ジョブコーチ制度、助成金制度、報奨金制度、トライアル雇用など）について理解を深める場とする。

≪ 日時 ≫

平成21年11月11日（水） 13:30～16:30

≪ 会場 ≫

メルパルク京都（旧ぱ・る・るプラザ KYOTO）6階

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676-13

075-352-7444

≪ 内容 ≫

- 1 「勤続5年表彰状・感謝状」の贈呈式
- 2 行政における障害者の就労に向けて今後の展開
- 3 京都市立総合支援学校による「企業就職に向けた取組」の発表
- 4 企業：「障害のある方の採用から定着に向けた取り組みについて」事例発表
行政：「障害者就労に向けた取り組みと今後の展開について」事例を含めた発表
学校：「職業学科の学校紹介と就労体験報告について」生徒からの発表

< 補足 >

1については、前年度の「第15回障害のある市民の雇用フォーラム」と同じ形式で実施したいと考えています。今年度の表彰者は、卒業生が14名、事業所が14社です。

2については、行政における障害者就労に向けた取り組みの現況と今後の展開について、京都市保健福祉局障害保健福祉課の舟瀬様より報告して頂きます。

3については、京都市立白河総合支援学校進路指導主事が、総合支援学校生徒の就職（会社や店に入社）に至るまでの取組について発表します。

4については、第1分科会として知的に障害のある方を採用してから、定着に向けた社内でのナチュラルサポートについて、日本新薬株式会社 人事課長の本間様より事例発表していただきます。第2分科会では、行政における障害のある方の就労支援について、就労支援事例を含む今後の展開について、京都ジョブパーク（京都府商工労働観光部）の福原様と、京都市保健福祉局障害保健福祉課の舟瀬様より報告していただきます。第3分科会では、職業学科の授業や企業就労について、在校生と卒業生から発表いたします。そして、それぞれの発表を受けて、参加企業と知的障害を有する方の企業就職につながるための意見交換をしたいと思います。

☆「タイムスケジュール」及び「発表内容」については、3ページをご覧ください。

《今年度の「雇用フォーラム」の特色》

- (1)京都市立総合支援学校の生徒が、企業の方に対してパフォーマンスできる場を設定する。
 - ・「受付」や「座席への案内」等の役割担当
 - ・職業学科から専門教科の学習内容や産業現場等での職場体験実習についての発表
- (2)障害者雇用を積極的に進めておられる企業から、障害者雇用に係る取り組みについて参加企業に対して事例を発表する。
- (3)「雇用フォーラム」に参加される企業の方々の興味・関心に応じるために、企業・行政・学校と3つの分科会を設け、希望の分科会に参加していただく。また、各分科会での発表終了後、分科会のテーマについて自由に意見交換できる時間を設定する。

当日の日程（会場設営・準備から閉会まで）

11:30	進路指導主事（メルパルク京都 6階）集合
11:45～13:00	会場設営・開式準備，事務局員の受付，表彰者の受付及び「贈呈式」予行
12:30	生徒・引率教員集合 受付の説明と練習
13:00～13:30	受付（参加企業等）
13:30～13:40	開会挨拶 ①『巣立ちのネットワーク』 代表 鈴鹿且久氏 ②京都市教育委員会 教育長 高桑三男氏 ③市長メッセージ代読 『巣立ちのネットワーク』事務局長 森脇勤
13:40～14:10	勤続5年表彰状・感謝状の贈呈式 (全体会の準備)
14:10～14:40	全体会 ①障害者就労に向けた取組の現況と今後の展開等 京都市 障害保健福祉課 舟瀬伴子氏 ②京都市の支援学校の企業就職に向けた取組について 京都教育大学附属特別支援学校 進路指導主事 木下幹雄 (休憩及び分科会会場への移動)
14:50～16:10	分科会（企業による事例発表及び参加者での意見交換会） ①第1分科会 発表(企業)；日本新薬株式会社 人事課長 本間浩司氏 発表テーマ；障害のある方を採用して事例発表 ～社内でのナチュラルサポート～ ②第2分科会 発表(行政)；京都府 商工労働観光部 副課長 福原早苗氏 京都市 障害保健福祉課 課長補佐 舟瀬伴子氏 発表テーマ；行政での取組紹介・意見交換 ③第3分科会 発表(学校)；白河総合支援学校 鳴滝総合支援学校 発表テーマ；職業学科の取組を知ってください ～障害のある人の社会参加を願って～ (全体会会場へ移動)
16:15～16:25	各分科会の報告（分科会記録担当より報告）
16:25～16:30	閉会挨拶 ・事務局長 森脇 勤
16:30	閉 会

勤続5年表彰状・感謝状贈呈式

勤続6年目の京都市立総合支援学校・京都教育大学附属特別支援学校の卒業生の表彰及び継続雇用企業・事業所に対しての感謝状贈呈式を行ないます。

卒業生の継続した勤務を奨励することにより、これからの中長期の勤続につなげる機会と企業への感謝の意を表すとともに、障害のある市民の雇用に関する啓発の機会とします。